

— 團伊玖磨生誕100年 —

市民オペラ

夕鶴

作曲／團伊玖磨 作／木下順二

※全1幕 公演時間：約2時間（予定）

指揮……………横山 奏
演出……………奥村啓吾

つう……………中江早希

与ひよう……………芹澤佳通

運ず……………山本悠尋

惣ど……………氷見健一郎

子どもたち……………いな少年少女合唱団

管弦楽……………伊那フィルハーモニー交響楽団

2024 6.30 (日) 開演14:00 (開場13:00)

長野県伊那文化会館 大ホール

全席指定 一般：3,000円 U25：1,500円

*U25:公演当日25歳以下対象、入場時に年齢がわかる身分証をご提示ください。

*未就学児入場不可

*車椅子席をご希望の方は伊那文化会館までお問合せください。

チケット発売日 2024年3月10日(日)

【窓口・電話】 長野県伊那文化会館 0265-73-8822 (9:00～17:00) ※発売初日は窓口10:00～ 電話13:00～

【WEB】 (一財)長野県文化振興事業団チケットサービス <https://p-ticket.jp/naganobunka>

【窓口】 ホクト文化ホール/キッセイ文化ホール

■主催:長野県伊那文化会館(一般財団法人長野県文化振興事業団)

■共催:長野県/長野県教育委員会/伊那市/伊那市教育委員会/信濃毎日新聞社

■後援:伊那ケーブルテレビジョン/伊那市有線放送農業協同組合/信州・市民新聞グループ/長野日报社/(公財)八十二文化財団/新宿区

■助成:(一財)地域創造

お問合せ:長野県伊那文化会館 TEL0265-73-8822 (長野県伊那市西町 5776/月曜休館) <https://inabun.jp/>

オペラ 夕鶴

日本の民話「鶴の恩返し」を基にした木下順二の戯曲「夕鶴」を、團伊玖磨がオペラ化。
1952年の初演以降、国内外で800回以上上演される、日本語オペラ不朽の名作！

〔Story〕 雪深い村にたたずむ1軒のあばら家。



そこには、与ひょうとその妻つうが仲睦まじく暮らしていた。

ある日、つうが織る布の評判を聞きつけた惣どと運ずが、その布で金儲けをしようとたくらんで二人の住む家を訪ねる。

「布を織るたびにつうが痩せてしまう、もうおしまいと約束した」と惣どと運ずの誘いを一度は断った与ひょうだったが、やがては二人の口車に乗ってつうに布を織るように言う。

与ひょうのために、と心を決めたつうは、「絶対に^{はたや}機屋を覗かないで」と言い残して、機屋へと入っていく……

指揮



横山 奏
Kanade Yokoyama

2018年東京国際音楽コンクール(指揮)で第2位および聴衆賞を受賞。一躍注目を集め、今後の活躍が大いに期待される若手指揮者である。札幌市出身。北海道教育大学を卒業後、桐朋学園にて学び、東京藝術大学大学院を修了。2017年WMC Kerkrade指揮者コンクールで第3位受賞。2015-17年東京シティ・フィル指揮研究員。東京都交響楽団、読売日本交響楽団をはじめ、全国各地のオーケストラと共演。2021年、バーンスタインの「キャンディード」(田尾下哲演出)を指揮。公演を大成功に導く。

演出



奥村 啓吾
Keigo Okumura

大阪音楽大学音楽学部声楽学科卒業。ヴェローナオペラアカデミー・オペラ演出課程修了。令和4年度 大阪市より「咲くやこの花賞」を受賞。2010年に渡伊。フィレンツェ歌劇場をはじめとするイタリアの歌劇場で、演出部として研鑽を積む。2018年にさわかみオペラ芸術振興財団から派遣され再び渡伊。アレーナ・ディ・ヴェローナのオペラ「カルメン(新制作)」に、日本人で初めて演出助手の一員として参加した。これまでにオペラ演出作品は、20作品以上に及ぶ。現在、枚方シティオペラ芸術監督、日本オペラ振興会育成部講師。

ソリスト



つう/中江 早希
(ソプラノ)

Saki Nakae
北海道上川郡鷹栖町出身。北海道教育大学岩見沢校芸術課程音楽コース声楽専攻卒業。東京藝術大学大学院修士課程音楽研究科声楽専攻独唱科、同大学院博士後期課程を修了。大学院アカンサス賞、三菱地所賞受賞。旭川新人音楽賞、第27回 道銀芸術文化奨励賞受賞。レパートリーは宗教音楽からオペラ、歌曲や現代音楽など国内外でのソリストを務めるだけでなく、ドラマやゲーム音楽など多くの作品にヴォーカルとして携わる。北海道上川郡鷹栖町ふるさと応援大使としても活動し、地域と文化の発展に力を入れている。洗足学園音楽大学非常勤講師。



与ひょう/芹澤 佳通
(テノール)

Yoshimichi Serizawa
ポローニヤ国立音楽院卒業。第38回イタリア声楽コンクール「ミラノ大賞」及び松下電器賞を受賞。これまでに小澤征爾氏、リッカルド・ムーティ氏、セバステイアン・ヴァイグレ氏など世界的な指揮者と共演する。また日越外交関係樹立50周年記念にあたる2023年には、ハノイにて「協奏『第九』の響きを世界へ、未来へ」(第九演奏会)のソリストとして選ばれるなど国際的な活動を展開している。二期会会員。



運ず/山本 悠尋
(バリトン)

Yukihiko Yamamoto
東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院独唱専攻を首席にて修了。大学院アカンサス音楽賞、武藤舞賞を受賞。2018年に渡伊。各地で〈ドン・ジョヴァンニ〉、〈セヴィリアの理髪師〉各題名役等を演じ好評を博す。また、バッハ・コレギウム・ジャパンの声楽メンバーとして国内外の演奏会や録音に参加。近年では北とびあ国際音楽祭のフランスバロックオペラに出演するなど、様々な様式のオペラ作品に取り組んでいる。



惣ど/氷見 健一郎
(バス)

Kenichiro Himi
富山県出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院音楽研究科修士課程オペラ専攻修了。新国立劇場オペラ研修所修了。研修中にANAスカラシップ奨学生として、ミラノスカラ座アカデミー、バイエルン州立歌劇場付属オペラ研修所にて海外研修を受ける。新国立劇場公演《魔笛》ザラストロ役で本キャストデビュー。第17回松方ホール音楽賞奨励賞受賞。バッハ・コレギウム・ジャパン声楽メンバー。とやまふるさと大使。

伊那フィルハーモニー交響楽団

Ina Philharmonic Orchestra

長野県伊那文化会館誘致運動の一環として、1985年伊那谷初めてのオーケストラとして発足。

長野県伊那文化会館落成記念演奏会にて、ベートーヴェンの交響曲第九番を演奏。地元に関わりのあるメンバーで行う「クラシック音楽の祭典」では一般公募による合唱団と共にオーケストラ演奏を行い、毎年の定期演奏会と合わせ、演奏活動の一環としている。

地元の皆さまに身近に感じてもらえるオーケストラを目指して、日々活動している。

いな少年少女合唱団

Ina boys and girls choir

小学生から高校生までが在籍し学校教育では体験出来ない、年齢の垣根を越えたメンバーで構成される。年4回のコンサートを開催し、国内外への遠征活動を行っている。これまでに、ヨーロッパの演奏ツアーを実施。毎週日曜日に伊那公民館にて練習を行っている。

〔Staff〕

副指揮/西村 広幸 児童合唱指導/山岸 めぐみ コレパティトール/服部 容子 ピアニスト/金子 渚 岡田 華子 演出助手/雨森 あかね
舞台監督/藤井 涼子(アートクリエイション) 美術/松生 紘子 照明/稲葉 直人(A.S.G.) 音響/関口 嘉顕(T・H・M) 衣裳/東京衣裳
大道具/東宝舞台 ヘア・メイク/丸善かつら 制作進行/中村 光宏(センターヴィレッジ)